

三重県入札等監視委員会 審議概要（平成29年度 第3回）

開催日及び場所	平成29年11月22日(水)14:00～16:00 JA三重健保会館 3階 大研修室	
出席委員	委員長 林 拙郎 副委員長 福島 礼子 委員 木本 凱夫 委員 長谷部 拓哉 委員5名中4名出席	
審議対象期間	平成29年7月1日から平成29年9月30日	
抽出案件	総件数 5件	(備考)
一般競争入札	4件	
指名競争入札	1件	
随意契約	0件	
委員からの意見・質問、それらに対する回答等	意見・質問	回答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申または勧告の内容	特になし	

入札等監視委員会 平成29年度 第3回定例会（平成29年11月22日）

意見・質問	回答
入札・契約事案の審議について	
工事名 ①四日市工業高等学校専攻科棟 整備建築工事〔営繕課〕	
<p>・入札参加者が2者だけとなったが、考えられる要因は。</p> <p>・低入札での応札であるが、それによって下請け業者が無理を強いられているようなことはないのか。</p>	<p>・昨今、工事の受注が増えていることから、配置する技術者が不足していたことなどが考えられる。</p> <p>・低入札価格調査において、そのあたりの調査もしている。また、下請け業者に対しても直接聞き取りをして問題ないことを確認している。</p>
工事名 ②長島中部地区 基幹土地改良施設防災機能拡充保全事業吐出管工事〔桑名農政事務所〕	
<p>・入札参加資格の技術者要件で、2,500万円以上の土木一式工事の施工実績を求めているが、具体的な工種までは求めているのか。</p> <p>・評価項目の工事成績で差がついているが、この評価はどのようにするのか。</p>	<p>・工種については、総合評価の評価項目の一つとして設定し、評価させていただいている。</p> <p>・過去に施工した土木一式工事から、申告された工事成績点により評価し配点している。</p>
工事名 ③相賀浦地区海岸 海岸高潮対策(離岸堤工)工事(その3)〔伊勢建設事務所〕	
<p>・入札参加者が2者だけとなったが、考えられる要因は。</p> <p>・予定価格事後公表の試行案件であるが、事後公表によるメリット・デメリットはあるか。</p>	<p>・昨年度は5者の参加があり、少なくなった要因はわからない。昨年度と変わったところは、予定価格の事前公表か事後公表かの違いで、工事内容はほとんど変わらない。</p> <p>・メリットは受注者側の積算能力の向上と、無理のない金額での応札ができること。また、デメリットとしては予定価格を探る不正行為の心配があること。</p>

入札等監視委員会 平成29年度 第3回定例会（平成29年11月22日）	
意見・質問	回答
<p>工事名 ④西明寺井堰地区 ため池等整備事業 護岸その2工事〔伊賀農林事務所〕</p>	
<p>・評価項目で家畜伝染病対策の項目があるが、どういうものなのか。</p> <p>・特記課題の技術提案において優れていた点は。</p>	<p>・鳥インフルエンザが発生した際には、埋設作業を建設業者に協力いただくため、県と建設業協会で協定を結んでいるが、それに伴う研修への参加に対して評価している。</p> <p>・河川内工事であり工期に制限がある中で、施工計画についてより高い適合性があったことを評価をした。</p>
<p>工事名 ⑤桑名市源十郎新田事案 支障除去対策 油回収業務委託〔廃棄物適正処理PT〕</p>	
<p>・産業廃棄物の不法投棄による影響ということだが、責任問題はどうなっているのか。</p> <p>・油を汲み上げ回収する業務だが、調査業務として発注するのはなぜか。</p>	<p>・本来、不法投棄の行為者に対し責任追求することになるが、その時期が古く行為者不明といった中で行政代執行となっている。</p> <p>・回収作業においては、地質の知識が必要となるため、地質調査の業者を選定し発注している。</p>
<p>その他</p>	
<p>・次回、平成29年度第4回入札等監視委員会の開催日は、平成30年2月22日（木）の予定とする。</p>	